

# ツイッター の 上手な始め方

【本書はツイッターの活用・ビジネス利用の わかりやすく、ためになる ハンドブックです】

- ✓ 「何ができるか」と「どうやるか」が同時に理解できるからわかりやすい
- ✓ 注意点も紹介し、実務ですぐ使えるからためになる

※「Twitter (ツイッター)」は Twitter, Inc.の登録商標です。また本文中のサービス名は、各サービス提供元の登録商標等です。

※本書は 2011 年 12 月現在の情報をもとに記述しています。仕様などが変わることがありますので、ご了承ください。

【著者】永友一朗：[ホームページコンサルタント永友事務所](#) 代表  
2011 年 12 月 18 日作成 <<無断転載を禁じます>>

## ■はじめに

「最近『ツイッター』ってよく聞くけど、自社ではどうやって使えばよいか、イメージが湧かないなあ…」  
「登録はしたけど、基本的な使い方を知ってから利用したいなあ…」  
そんなあなたに、ツイッター活用のエッセンスを盛り込んだ本書をお届けしたいと思います。

ツイッターは、基本的に

- ・他社（他の参加者）の「情報を読む」
- ・自社の「情報を発信する」

という2つの機能だけで、難しいことはまったくありません。

機能がシンプルなので、誰でも簡単に、スピーディーに「情報収集／発信」が出来るのです。

経済情報番組やビジネス系雑誌で紹介されたり、閣僚や有名経営者も多数利用しているという、話題の「ツイッター」。

「わかりやすく実務ですぐ使える」内容をまとめたこのハンドブックが、ツイッター活用のお役に立てれば幸いです。

## ■ツイッターを使った効果的な「情報収集」

### ●まずは利用登録

初めてツイッターを利用する場合は、ツイッターの「利用登録」をします。<https://twitter.com/>にアクセスし、名前/メールアドレス/パスワードを入力し「Twitter に登録する」というボタンを押すと、登録が進みます。なおツイッターは無料で利用できます。

#### <ポイント>

- ・「名前」はインターネット上に公開されます。企業公式アカウントの位置づけであれば、会社名や屋号が良いでしょう。後で何度でも変更ができます。
- ・「ユーザー名」は任意のローマ字か数字（もしくはその両方）です。企業公式アカウントの位置づけであれば、会社名や屋号などが良いでしょう。後で変更ができますが、必要もなく変更することはなるべく避けましょう。
- ・「パスワード」は、入力後に「✓弱い」というメッセージが出たら、短い/簡単すぎて危険、の意味です。そのままでも登録は進められますが、出来れば違うパスワードにしましょう。
- ・「メールアドレス」はインターネット上に公開されませんので安心してください。

### ●他社（他の参加者）の情報を読む準備

ツイッターで公開発信されている様々な情報は、ツイッター内で「検索」することで、誰でも読むことができます。

しかし、読むたびに検索するのは非効率ですし、あなたが興味を持つ情報を発言する人の内容は、継続して読みたくなるでしょう。

そのように、「あなたの情報は継続して読みたいですよ」という意思表示、すなわち”読者登録”のことを「フォロー」と言い、他社（他の参加者）をフォローすることで、あなたのツイッター画面（タイムライン。TL ともいいます）にその人の情報が表示されるようになります。

#### <ポイント>

- ・「ツイッターで参加者が書く情報」のことを「つぶやき」と言います。正式には、「ツイート」と言います。つまり「他社（他の参加者）の情報を読む」ということは、「ツイートをフォローする」ということになります。

それでは具体的に、ツイートをフォローする操作を見ていきましょう。筆者のアカウント(<https://twitter.com/ichironagatomo>)をフォローする操作をご説明します。

画面最上部「#見つける」のボタンを押し、「友だちを見つける」のメニューを押すと、「名前または@ユーザー名を入力してください。」という画面になります。この入力欄に、永友一朗と入力して「検索」ボタンを押します。検索結果の画面で筆者のアカウントが表示されたら、「フォロー」のボタンを押すことで「フォロー」することができます。

フォローしたら、あなたのホーム画面（タイムライン）に戻ってみましょう。画面左上の「ホーム」ボタンを押すことで、いつでもタイムラインに戻ることができます。

タイムラインでは、フォローした人のツイートがどんどん表示されていきます。



### <ポイント>

- ・時折、フォローしていない人のツイートが表示されることがあります。これは「フォローした人が『リツイート』（転送）した第三者のツイート」が表示されるためです。「リツイート」については後述します。
- ・一度フォローしても、あとでフォローを「解除」することもできます。

### ●知人を探してフォローしてみる

同様に、「友だちを見つける」の仕組みを利用することで、知人を探してフォローすることが可能です。手始めには、仕事上の仲間／地域の仲間など、交友関係のある知人を探してフォローしてみましょう。

### ●新聞等メディアのアカウントをフォローしてみる

ツイッターの利用拡大を受けて、新聞／テレビ／雑誌などのマスメディアや、行政、地域商工団体などもツイッターを利用して情報発信をしています。

詳しくは後述しますが、「見出し」程度をツイートし、詳しくはホームページ（HP）やブログのアドレスに誘導するという形態がほとんどです。

これらマスメディアや、行政、地域商工団体のアカウントをフォローすることで、有益で新しい情報が入手しやすくなります。

### ●「あなたがフォローしている人がフォローしている人」をフォローする

ツイッターの利用者どうしは、「フォローする／フォローされる」という「つながり」で結ばれた、緩やかな共同体であるともいえます。

あなたは興味がある人を「フォロー」できますが、その「あなたにフォローされた人」も、誰かをフォローしているはずで

「興味がある人をフォローする」のが自然ですから、「あなた（Aさん）がフォローしている人（Bさん）がフ

フォローしている人（Cさん）をフォローすることは、理に合っていることだと言えます。

それでは具体的にその操作を見ていきましょう。

フォロー中の人のアカウント（英数字のほずです）を押すと、その人（Bさん）だけのタイムラインが表示されます。

その画面右側、「フォロー」というリンクを押すと、Bさんがフォローしている人（Cさん、Dさん・・・）が列記されるほずです。

そこで、あなたの興味に応じて、「フォロー」をしていけばよいのです。

## ■ツイッターを使った効果的な「情報発信」

### ●情報発信のしかた

ツイッターの魅力は「他者のタイムリーで有益なツイートを読める」事だけではありません。あなたの持つ想いや情報を、広く一般向けに発信するチャンスがあるのです。

では、あなた自身のツイートはどのように行うのでしょうか？

あなたのタイムライン左上部に、「ツイートする…」という記載とともに、四角い空欄が見えるほずです。

この四角い空欄に発信したい内容を記入し「ツイート」ボタンを押すことで、即時に情報発信が可能なのです。

ツイートをすると、あなたのタイムラインに表示されるだけでなく、あなたのことをフォローしてくれた人のタイムライン上に表示されます。

### ●フォローされるヒントは「前向き、有益、新しい、感謝」

ツイッターで「多くの方に情報発信をする」ためには、「あなたのことをフォローしてくれる人」（フォロワーと言います）が多いほうが良いことが分かるでしょう。

では、どうすれば多くの人からフォローされるのでしょうか？

それは「前向き、有益、新しい、感謝というテーマの、ポジティブで読みたくなるツイートを書くようにする」ことに他なりません。

あなたがそうであるように、わざわざフォローという”読者登録”をしてツイートを読むわけですから、後ろ向きな、あるいは意味のない内容は歓迎されません。

ヒントとしては、

- ・仕事に関する、「取り組む、進んでいく」等の前向きなツイートをする
  - ・フォロワーにとって有益と思われるノウハウ、コツ、専門知識、珍しい情報などをツイートをする
  - ・自分自身で知った「新しい情報」をツイートをする
  - ・お客様などへの感謝を述べる
- ということが挙げられます。

## ●フォロワーはどこで確認する？

あなたのことをフォローしてくれたことは、どこで確認できるのでしょうか？  
画面左上に、「ツイート／フォロー／フォロワー」というリンクがあります。



それぞれ、

- ・あなたの全ツイート数
- ・あなたがフォローしている人数
- ・あなたがフォローされている人数（フォロワーの数）  
の数値を表わしています。

このうち、「フォロワー」というリンクを押すことで、フォロワーの一覧が表示されるのです。

### <ポイント>

・フォローすることも、フォローされることも、基本的にはまったく自由です。ただし「あなたのツイートも読むから、私のツイートも読んでくださいね」という「暗黙の期待」がある場合もあります。時折、フォロワーの一覧を眺めて、フォローしても良いと思う人がいれば、フォローしてあげましょう（このことを相互フォローと言います）。

## ●プロフィールを充実させる

「ポジティブで読みたくなるツイート」をすることがフォロワーを増やす基本ですが、「どこの誰かわからない」状態では、信頼性に欠け、フォローされづらいでしょう。

「どこの誰でどんな事に興味があるのか」を示すには、「プロフィール」欄が適しています。  
ここでは具体的にプロフィールを充実させる工夫を見ていきましょう。

画面の右上、人物のボタンを押し、更に「設定」を押します。この中の「プロフィール」というリンクを押します。

ここではまず、「位置情報」に貴社所在地（県・市・区程度）、また「URL」には貴社ホームページやブログを記載しましょう。

一番重要なのは、「自己紹介」欄です。160文字以内という制限がありますが、ビジネスでツイッター利用をするのであれば、

- ・どんな仕事をしているか
- ・取扱商品は何か
- ・所属団体

などを記載しておくとい良いでしょう。

なお、この情報は何度でも書き換えることができます。適宜、工夫をしてみましょう。

参考まで、筆者のプロフィールをご紹介します。

- ・名前：永友一朗（わかりやすいHP相談）
- ・現在地：神奈川県藤沢市藤沢 972-1-1209
- ・Web：http://web-adviser.seesaa.net/
- ・自己紹介：ホームページコンサルタント永友事務所代表。「ペルソナシナリオ法」を使いHPの営業力を高める改善サポートがメインです。SEO/ブログ活用もわかりやすくご助言しています。【公職】川崎商工会議所専門相談員/神奈川県・東京都・栃木県商工会連合会エキスパート等。全国でわかりやすく講演中。NICe 会員/2児パパ/facebook

## ●アイコンを変更する

この「設定」のコーナーで変更できることをあと一つご紹介します。

プロフィールの「プロフィール画像」欄には、初期設定の画像（たまごのイラスト）が入っているはずですが。

このアイコンは、アカウント名とともに、あなた（貴社）自身を象徴するものになりますので、できればオリジナルの画像を用意し、変更しましょう。

画像を用意し、「参照」から当該画像を選んで開き、ページ最下部の「保存」ボタンを押します。変更したら、念のためタイムラインで確認しましょう。

### <ポイント>

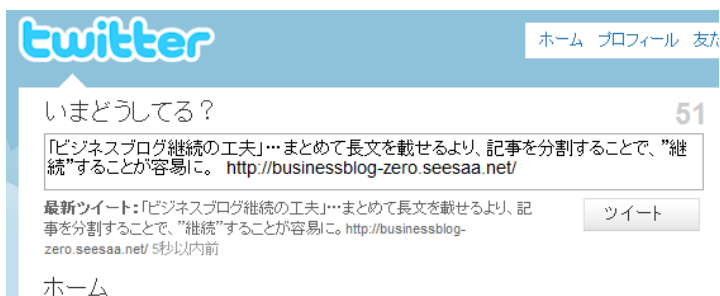
- ・顔写真を掲載する場合は、できれば笑顔の写真を選びましょう。
- ・gifアニメーション（動くアイコン）を掲載することもできますが、タイムライン上でチカチカしますので、できれば避けましょう。

なお、「デザイン」というコーナーで、文字色などを変更することもできます。色々工夫したくなりますが、文字色は「標準」（初期設定のまま）が一番読みやすいので、特別な理由が無ければ替えない方が良いでしょう。

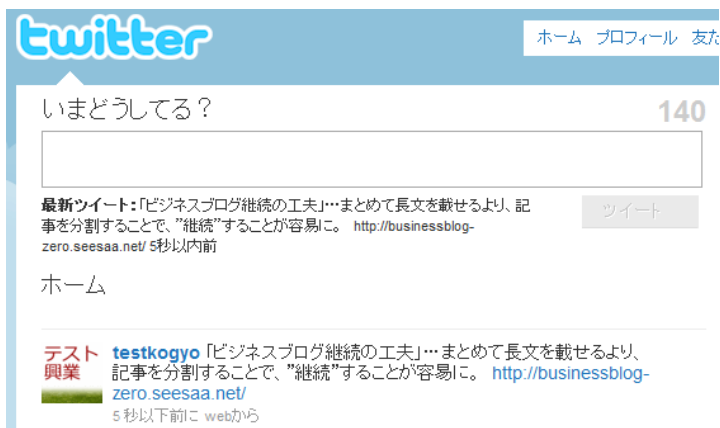
## ●ホームページやブログに誘導する

ツイートは、一度に投稿できるのは140文字以内です。数回に分けてツイートすることもできますが、概要だけツイートし、あとはホームページやブログのアドレスを記載し誘導するというのがスマートでしょう。

「アドレスを記載し誘導する」と言っても、難しいことはありません。ツイートの一部として、アドレスを記載する（もちろん「貼り付ける」ことも可）だけでよいのです。



### ▲アドレスを記載するだけで・・・



▲ツイートすると、自動的にリンクが張られます

●長いホームページアドレスは「短縮URL」を使って記載する

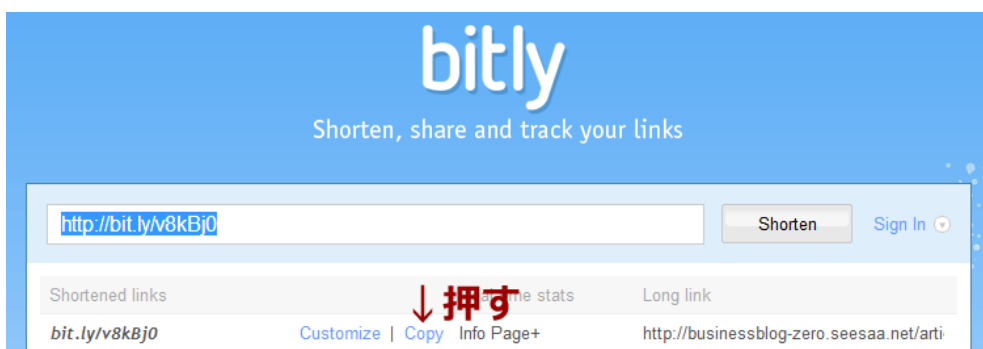
ホームページアドレスを記載する時に、一つの悩みに直面することがあります。それは、ツイートは140文字以内なので、ホームページアドレスがあまりにも長いとツイートに収まりきらなくなったり、「概要」部分を短くせざるを得ないという点です。

こういうときに知っておくと便利なWebサービスがあります。

「bit.ly」(ビットリ)という無料で使えるWebサービス (<http://bit.ly/>) で、長いホームページアドレスを、短い代替アドレスに変更してくれるサービスです。



▲空欄部分に、元々のホームページアドレスを記入(貼り付け)して、「Shorten」というボタンを押すと・・・



▲「Shortened links」という下に、短縮されたホームページアドレスが表示されるので、Copy (コピー) して、ツイートに貼り付けます

## ●ブログサービスの「ツイッター自動投稿機能」を使う

ブログを頻繁に更新している場合は、その更新情報をいちいち手作業でツイートするのが面倒に感じられるかもしれません。

いくつかの無料ブログサービスでは、「ブログ記事を投稿する際に、同時に（自動的に）ツイッターにもツイートしてくれる」機能が備わっている場合があります。

この機能を使えば、ブログの更新情報を手作業でツイートする手間が省け、またツイートし忘れる心配がなくなるので、お薦めです。

代表的なものでは、

- ・ Seesaa ブログ (<http://blog.seesaa.jp/>)
- ・ livedoor Blog (<http://blog.livedoor.com/>)

が、この機能を用意しています。

## ●携帯端末からのツイート

ツイッターは、パソコンから利用できるだけでなく、携帯電話などからも利用できます。インターネットができる情報機器ならば携帯端末からも利用できるという「機動性」も、ツイッターの魅力です。

この特徴を利用して、

- ・ 作業現場からのツイート
- ・ イベント出展時にツイート
- ・ 帰宅中にツイート

なども可能です。

////// コラム ////

～「メッセージマネジメント」の考え方～

ツイッターでの情報発信が、気軽にタイムリーにできることをお分かり頂けたと思います。

しかし「気軽に発信できる」情報だとしても、インターネット上に公開された瞬間に、見ている人にとってはそれがあなた（貴社）の公式的な見解だと思われれます。

発信するメッセージの伝え方／伝わり方を認識しマネジメントしようとする考え方を「メッセージマネジメント」と呼びます。このメッセージマネジメントの観点から、ツイッター利用の注意点を考えてみましょう。

### 1…ツイッターがブランドを作る

例えば貴社が、明るく前向きで元気なイメージのブランディングを目指してホームページを作り、店舗内装を考え、スタッフ教育をしているとします。

しかし気軽に発信できるツイッターで

「今日はお客さんが来なくて暇だ～」

「金曜日の午後だから疲れますよね」



などとツイートしたらどうでしょうか？

それを見ているフォロワーは、「なんとなく後ろ向きでネガティブな感じだな」という心証を受けるでしょう。

ホームページやお店では明るく前向きなのに、ツイッターでは後ろ向きでネガティブ。お客様はこういった「メッセージのズレ」に敏感です。

あくまでもお客様メッセージの総体からブランドイメージが作られていくことを、忘れないようにしましょう。

## 2…複数人でツイートするときは

ツイッターは、登録したアカウントとパスワードで「ログイン」すれば、それが社長であれアルバイトスタッフであれ、誰でも使うことができます。

これは特に小売りサービス業様に多いケースですが、現場のスタッフが交代でツイートするのを見ることがあります。

この場合でも、フォロワーから見れば、どのスタッフがツイートしたかなどは分かりようがなく、全てがあなた（貴社）の公式的な見解だと思われるのです。

従って、同じアカウントを複数人で使う場合は、

- ・ツイート内容の方向性（何をどんなタイミングでどのような口調でツイートするのか？）
  - ・お客様対応の方向性（質問を受けたらツイートで返事をするのか？しないのか？）
- などの「運用基準」は意思統一をしておいた方が良いでしょう。

## 3…コンプライアンスに留意する

ツイッターでのツイートも、ホームページやブログと同様、コンプライアンスに留意したものであるべきです。無断で他者の文章を使わない／商標登録されているキャラクター画像を使わない／景品表示法・薬事法等の違反表現を使わない…などに注意しましょう。

///// 事例研究 /////

～横浜管財株式会社様（横浜市：ビルメンテナンス業）～

■今後ツイッターを始めるご予定とのことですが、どんなシーンで活用していこうとお考えですか？

当社はビルメンテナンス、建物管理業者です。作業現場などからスタッフがツイートすることで、「こんな人が、こんな思いで作業しているんだ」という”人間味”が出せるのではないかと考えています。

また、「あまり知られていない清掃ノウハウ」「〇〇の選び方」「ビル管理こんなときどうする？」などの情報を発信することで、ビルメンテナンス／不動産管理分野のプロであるというブランドの強化も目指しています。

■ホームページとツイッターはどういう関係にしていきますか？

自社ホームページにて、ツイート情報が自動的に掲載される仕組みを導入しようと考えています。

こうすることで、自社ホームページに来たユーザーに、固定的な企業情報・サービス情報と、ツイッターという「動きがあり柔軟な」情報の両面を見せることができるのではと考えています。

## ●ホームページ

<http://www.hamakan.jp/>

///// 事例研究 /////

～株式会社ノリ・コーポレーション様（藤沢市：飲食業）～

### ■ツイッターを始めた動機は何ですか？

「ソーシャルメディア」に興味があり、リアルタイムで情報収集と発信が出来そうだったからです。  
”百聞は一見にしかず”で、なんだかわからないがとりあえず使ってみようと思いました。

### ■現在はツイッターをどのように使っていますか？

料理教室の様子を画像入りでツイートしています。また料理人・経営者としての想いを発信したり、ブログ更新情報を掲載しています。もちろん情報収集にも使っています。

### ■今後はツイッターをどのように使っていきたいですか？

同業の仲間と情報交換をしたり、引き続き情報収集をしたいです。ツイッター提示で割引などをするサービスを導入して来店促進につなげ、また「返信」でお客様とコミュニケーションをとっていくことを考えています。また「ハッシュタグ」を使って自社ブランドやイベント情報を広めたいです。

## ●ツイッターアカウント

<https://twitter.com/norimitamura> (BALENA/シェフ)

## ●ホームページ

<http://www.tavernabalena.com/>

### ■ツイッターを使って顧客との関係継続/強化を図ろう

## ●ツイッターの醍醐味…「対話」

ツイッターでは、気軽に情報収集をし、同様にあなた（貴社）の情報を発信できることを見ました。

この情報収集/発信は、もちろん一方通行ではありません。「返信」という機能を使って、特定のツイートに「返事」をすることができるのです。

この「返信」機能をうまく使っていくことで、

- ・フォローした自社の顧客に、個別対応的な情報発信をすることができる
  - ・お困り事がある方に、自社ならではの助言回答ができる
- などが可能で、顧客との関係継続/強化が図れるのです。

これは、単にそのお客様に訴求できるだけでなく、「その一連のやりとりを見ている人」にも、

- ・この会社は、個別のお客様にも丁寧に対応しているな
  - ・この会社は、親切に、また詳しい回答ができる会社なのだな
- という心証を与えることができます。

従って、特定のツイートに「返信」することは、単純な情報収集/発信にも増して、ツイッターの重要な使い方

だと言えるでしょう。

では、具体的に「返信」の操作を見ていきましょう。

### ●ツイートの「返信」というリンクを押す

返信しようと思うツイートにマウスを近づけると、「返信」「リツイート」というリンクが表れます。

そこで「返信」というリンクを押すと、ツイート入力欄の先頭に「@ichironagatomo」などと、@（アットマーク）が付いたアカウント名が表示されます。

この@ichironagatomo などのアカウント名の後に適宜コメントを追加しツイートすることで、@ichironagatomo（例として筆者のアカウントです）への「返信」ができるのです。

### <ポイント>

・この「返信」機能で注意点が2つあります。ひとつは、「返信」を押して@ichironagatomo などのアカウント名が追記されたとしても、これだけでは「どのツイートに対する返信か」が分からないのです。

例えば、

これ、私も同感です！ @ichironagatomo

などとしても、「何に対して同感なのか？」が分からないのです。

そこで、一般的なルールとして「RT:」（アールティーコロロン）という符号の後に、返信対象のツイートを転記することが行われています。

このケースの場合は

これ、私も同感です！ RT @ichironagatomo:【HPは分かりやすさがカギ】文章というのは、自分では気づかない「クセ」があると思います。

などのように「返信内容 RT +対象アカウント名+:+返信対象ツイート」という形にするのが一般的です。

・注意点のふたつ目は、特定のツイートに対する返信だとしても、「その人だけ見ることができる」返信ではないということです。

この「返信」機能を使ったツイートも、通常のツイートと同様、あなたのフォロワーを含めインターネットユーザーなら誰でも見ることができるのです。

「（公開せず）特定の人だけに連絡したい」場合の「ダイレクトメッセージ」機能については後述します。

### ●自分に「返信」が来たかどうかはどこで確認する？

他の人から自分宛に「返信」が来たことを確認する最も簡単な方法は、画面左上の「@つながり」というボタンを押すと、「@ツイート」というページが表示されます。

これは、あなた宛での「返信」一覧ですから、ここを見て更に「返信」をするなどのコミュニケーションを図ることができます。

////// コラム ////

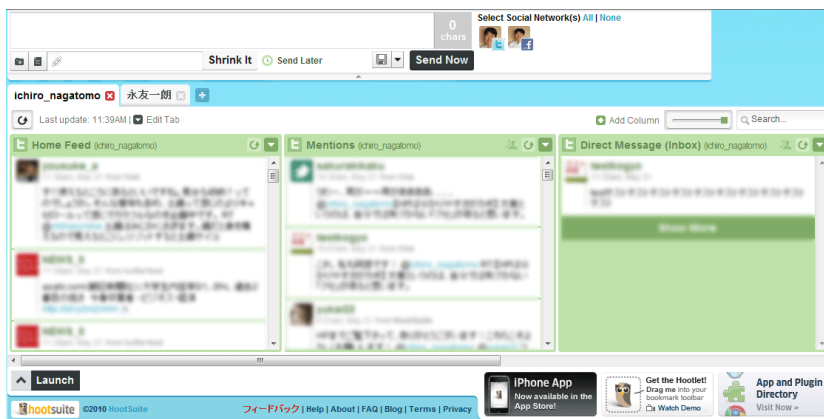
～HootSuite などの利用～

ツイッターを使い始めてしばらく経ち、情報収集／発信が盛んになると、「タイムラインと、自分宛の返信と、ダイレクトメッセージ（後述）を一度に見たいなあ」という希望が出てくると思います。

これまでの説明はツイッターの「公式サイト」の使い方を説明してきましたが、「専用クライアント」と呼ばれる「ツイッターを快適に使うための専用Web サイト」を使ってツイッターを活用する人も多いようです。

ここでは代表的な専用クライアントである「HootSuite」（フートスイート）という Web サイト (<http://hootsuite.com/>) をご紹介します。

HootSuite は無料で使える Web サービスで、タイムラインと、自分宛の返信と、ダイレクトメッセージ（後述）を一度に閲覧できるのが最大の利用メリットです。必要に応じてお試しください。



### ●特定のみに連絡する「ダイレクトメッセージ」

「返信」機能は特定のツイートに「返事」をすることだとして説明しました。

では、ある利用者へ限定して（ツイートとして公にせず、秘密裡に）連絡をしたい場合は、どうすればよいのでしょうか？

これには「ダイレクトメッセージ」という機能を使います。このダイレクトメッセージを使うことで、

- ・公にたくないスケジュール調整
  - ・公にたくない携帯電話番号やメールアドレスの連絡
- などができます。

### <ポイント>

- ・この「ダイレクトメッセージ」機能が使えるのは、「送る相手が、自分のことをフォローしてくれていること（フォロワーであること）」が条件です。
- ・ツイッターでは「ダイレクトメッセージ」のことを「DM」と呼ぶ場合があります。

では具体的に、ダイレクトメッセージの送り方を見ていきましょう。

タイムラインに表示されるツイートは、必ず先頭にアカウント名が表示されています。ダイレクトメッセージを

送りたい相手のアカウント名を押すと、その人のプロフィール画面に移ります。

その「人物ボタン」を押し、「ダイレクトメッセージを送る」というリンクを押すと、空欄が出てきますので、あとはツイートと同じ要領で記入し、「メッセージを送信」ボタンを押せば、ダイレクトメッセージが送れます。

### <ポイント>

・ダイレクトメッセージは、通常の「メール」と同じ感覚の「直接的なやりとり」です。従って、フォローしてくれたお礼（単純で形式的な挨拶）／一方的な宣伝などの「不要不急なダイレクトメッセージ」は、受信者にとって好ましくない場合がありますので注意しましょう。

・残念なことですが、この「ダイレクトメッセージ」機能を使った「スパム」（迷惑行為）があるという報告もあります。具体的には、他者になりすましてダイレクトメッセージを送り、そのメッセージ中のホームページアドレスを押させることで、悪意のある／いかかわしいホームページに誘導するという手口のようなようです。

特に、英語だけで書かれたダイレクトメッセージなどは、必要が無ければ「削除」する判断も必要でしょう。

### ●ダイレクトメッセージを読むには

ダイレクトメッセージが届いた場合は、どこで分かるのでしょうか？

それは自分のタイムライン画面右側、人物ボタンの中の「ダイレクトメッセージ」というリンクを押すことで、自分に届いたダイレクトメッセージを確認することができます。ダイレクトメッセージには「返信」することもできます。

### ■ツイッターで「想い」を伝えよう

### ●画期的な機能…「リツイート」

ツイッターで情報収集をしていると、とても有益だったり、役に立ったり、感心するようなツイートに出会うことがあります。

これをあなた自身だけでなく、「他の人にもぜひ読んでもらいたい！」と思ったら、そのツイートを自分のフォロワーに対して”転送”することができます。

この機能を「リツイート」といいます。

さて、あなた（Aさん）が「リツイート」したXさんのツイートは、あなたのフォロワー（Bさん、Cさん…）のタイムラインに表示されます。先程、「フォローしていない人のツイートが表示されることがあります」とお話ししたのは、誰か（あなたがフォローしている人）が、第三者のツイートをあなたにリツイート（転送）したからです。

そしてもしBさん、Cさん達が「このツイートは有益だな、良い情報だな」と思ったら、さらに自分のフォロワー（Pさん、Qさん、Rさん…）にリツイートすることができます。

つまり「有益だったり、役に立ったり、感心するようなツイート」は、このリツイート機能によって、自分のフォロワーの数を超えて、どんどんと増幅していく可能性があるのです。

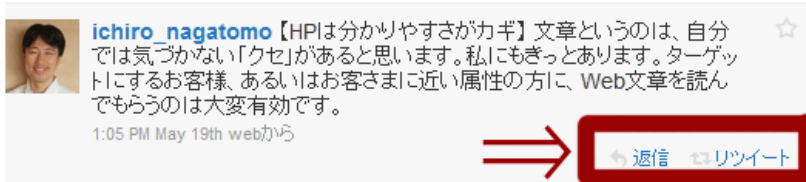
「ツイッターでは情報が増幅され伝わっていく」などと言われるのはこのためで、ツイッター活用の最も重要な

ポイントです。

では具体的に、リツイートの方法を見ていきましょう。

### ●「リツイート」ボタンを押すだけ

「返信」機能と同様ですが、リツイートしようと思うツイートにマウスを近づけると、「返信」「リツイート」というリンクが表れます。



そこでリツイートというリンクを押すと、「リツイートしますか？ はい ×」などという表示が出ますので、「はい」を押すと、そのツイートが（自分のフォロワーに）リツイートされるのです。

### ●リツイートが更にリツイートされ得るという重要さ

先程、「ツイッターの利用者どうしは、『フォローする/フォローされる』という『つながり』で結ばれた、緩やかな共同体である」とお話をしました。

つまり、自分がフォローしたりされたりする人たちは、比較的に関心や興味が近い、と言っても差し支えないでしょう。

ということは、仕事や商品サービス等への想い、お客様へ伝えたい想い、何かを改善したい想い、広く言えば「こころざし」が「価値観の近い人たちに効率よく広まっていく」ことを意味しています。

筆者は、この点がツイッターの真髄ではないかと思っています。

あなたもきっと、商品や技術に込めた「想い」、商売への「想い」、世の中に伝えていきたい「想い」があるでしょう。それをぜひ、ツイートしてみてください。また同時に、あなた自身が感心したツイートは、どんどんフォロワーにリツイートして紹介してあげてください。

ツイッターにはこの「良いものを伝えあっていく」という精神が息づいており、強い想い/こころざしほど広まっていくように筆者は実感しています。

活動地域やビジネス経験、老若男女、ましてや自社ホームページデザイン、広告宣伝スキル等の優劣に関係なく、「お客様のことを想い、社会のことを想い、真摯に仕事に取り組む姿勢」が支持され広まるのが、ツイッターの世界です。

ぜひあなたも、ツイッターで直球勝負をして、自信を持って自社のPRをしてみてください。真摯な姿勢で仕事に取り組むあなたの商品や技術は、きっと多くの方が必要とし、待ち望んでいることでしょう。

### ■さいごに

卑近な例ですが、筆者もツイッターを利用することで、新しいクライアント様を獲得し、リピート化につなげ、また信頼できる方と業務提携することが出来ました。また、筆者が運営しているビジネスブログについても、ツイ

ッターを利用し始めてからアクセス数が明らかに増加しています。

またフォローしている人の元気で前向きなツイートを眺めていると、よし！自分も頑張ろうという気持ちがきます。

筆者は約10年間、中小企業様のホームページ運営に関する助言指導を行ってきました。そこでよく目にするのが、「ホームページやブログ、ツイッターなど、なんだか難しそう…」という「食わず嫌い」をして「態度を保留」にし「そのまま時間が過ぎていく」方々です。

ツイッターは、無料で使えて、機能も単純です。あなたが思っている以上に簡単です。私のクライアント様でも、70歳近くの方でも使いこなしています。ぜひ安心してチャレンジし、あなたのビジネスを加速させてください。

終盤でお話したように、あなた自身の想いをツイートしていけば、おのずとリツイートされ、興味を持った方が自発的にあなたをフォローしてくれるでしょう。つながった人とは、返信やリツイートで交流しましょう。この人間関係こそが、ツイッターであなたの想いがどんどん広がり、商売が広がる原動力になるのです。

ツイッターをはじめたら、ぜひ筆者のアカウントを「フォロー」してください。ツイッターで、本書に関するご質問を喜んでお受けします。

筆者のアカウント <https://twitter.com/ichironagatomo>

#### ■著者紹介■

ホームページコンサルタント永友事務所代表。 <http://www.8-8-8.jp/>

Web制作会社に属さない中立独立系HPコンサルタントのパイオニアとして活動。商工会議所・商工会・業界団体等、また中小企業・創業予定者・起業家向けに、HP改善、ビジネスブログ開設運営、SEO（検索エンジン対策）やWEBマーケティングについて助言指導・講演多数。

20代から80代までのクライアントに「わかりやすく実務的」と評価を受けている。

#### ■公職／登録■

- ・神奈川県商工会連合会登録エキスパート
- ・東京都商工会連合会登録エキスパート
- ・栃木県商工会連合会登録エキスパート
- ・(財)千葉市産業振興財団登録専門家
- ・(財)埼玉県産業振興公社支援専門家
- ・(社)日本皮革産業連合会企業支援ネットワーク登録Web活用アドバイザー
- ・川崎商工会議所専門相談員
- ・川崎市中小企業サポートセンター登録専門家

#### ■公式ブログ■

永友一朗公式ブログでは、HP原稿の書き方、来店・申込や問い合わせを促す掲載内容、コストをかけないHP宣伝方法など560個以上のヒントを掲載しています。

<http://web-adviser.seesaa.net/>（わかりやすいコンサルタント で検索）

以上